

戸山

新宿区立 戸山小学校

新たなる夢

校長 百合野 壽郎

夏休みのある日、新聞を見ていたら「ニュースペース（新宇宙産業）」の記事が載っていました。月の水の存在がほぼ確実に、月面開拓と移住を可能とする技術も生まれつつある中、大手メーカーを中心に技術革新により宇宙をビジネスに活用する動きが広がっています。なんと40年代（あとわずか20年後！）には月に1,000人が住み、物資の輸送、住居、食料、音楽や娯楽（月は殺風景なところだから）など様々な需要が生まれるというのです。

宇宙への探求、中でも”宇宙へ行ってみよう”という願いは、太古の昔から人類がもち続けた、永遠のそして究極の夢であり、かく言う私もその一人でした。子どもの頃、テレビで見た（もちろん白黒テレビでしたが…）アポロ11号の月面着陸中継、宇宙戦艦ヤマトや銀河鉄道999などのアニメーションを見て育った私は、自分が大人になったら、必ず宇宙旅行ができるようになると信じていました。残念ながらその願いはかないそうにありませんが、それでも昨今の宇宙開発や天文学の進歩は自分の宇宙への思いを大いに満足させるものです。

とりわけ日本人宇宙飛行士の活躍は目を見張るものがあり、今までに9人が宇宙飛行を経験し、3人が宇宙に飛び立つ日を待っています。

では宇宙飛行士になるためにはどんなことが必要なのでしょう。自然科学系の学問を勉強しているとか語学力があるとか様々あるのですがそれらに加えて①我慢強いこと②協調性があることが大切だと言われています。

宇宙飛行士に選ばれた後も、基礎訓練だけで数年、他にも長期にわたってたくさんの訓練を受け続けることになります。一度や二度訓練がクリアできなかったりミッションが延期になったりで諦めてしまうようでは宇宙飛行士として不適格です。また、宇宙では様々な国籍や人種の人と協力しないと飛行は成功しません。国や文化の異なる人たちとお互いに認め合うことや、チームの一員として与えられた役割をきちんと果たす実行力も求められます。

しかしながら、よくよく考えてみると、これらの事は宇宙飛行士にかかわらず、地上の社会生活でも、何よりも学校生活の中でも大切なことなのです。言い換えれば、粘り強く学習活動に取り組み、クラスの友達と協力して過ごすことができている子どもたちは、誰もが宇宙飛行士になれる可能性があるのです。

戸山小学校の子どもたちみんながそんな子どもたちであるように、そしていつの日か戸山小学校出身の宇宙飛行士が、宇宙で活躍するようになる、私は今、そんな新たな夢を持っています。

子どもたちの元気な挨拶とともに、2学期が始まりました。子どもたちの夢をかなえられる手助けができる、そんな学校づくりに教職員一同取り組んでいきます。一層のご理解・ご協力の程よろしくお願いいたします。

学年の窓

6年

自然や文化に触れた日光移動教室

6年生は6月17日（月）から2泊3日で日光移動教室へ行ってきました。子供達は事前に自然・文化・歴史・特産品について1人1人がテーマを選び、調べ学習をしました。3時間の戦場ヶ原ハイキングでは日光の豊かな自然に触れ、水の冷たさや動植物の特性について知り、驚いていました。東照宮では多くの文化財を見て、豪華な作りや彫刻の繊細さに昔の人の技術の高さ、今でも継承される文化の素晴らしさを感じていました。

帰ってくると、国語の学習と絡め、同じテーマの友達とグループを作り、パンフレットを書

きました。実際に足を運んだからこそ分かったことや、地元の人やガイドさんから教えていただいた現地の情報などを織り交ぜながら、それぞれに日光のことを紹介するオリジナルパンフレットができました。まとめとして、プロジェクターで自分たちが作ったパンフレットを映しながら発表会をしました。自分たちとは違うテーマを選んでいる班の発表を真剣に聞いていました。



授業参観日(学校公開)のお知らせ

8月31日(土)、9月2日(月)、3日(火)の3日間は授業参観日(学校公開)となっております。

8月31日(土)には新一年生保護者を対象とした学校説明会が会議室であります。

多数ご参観くださいますよう、
よろしくお願いいたします。

